

やとみ

議会だより

No. 52

2019年
2月22日発行

おめでとう 祝成人

目次

- 10月・11月臨時会、
12月定例会のあらまし P2
- 委員会レポート P3
- 議案等の賛否状況一覧 P4
- ズバリ聞きます!一般質問 P5~14
- やとさぽ
(やとみ金魚イルミネーション点灯式) P15
- おしらせ P16

1/13

成人式

関連記事⇒P16

平成30年10月・11月臨時会、
12月定例会概要

12月定例会のあらまし

12月定例会は、12月25日から1月22日までの29日間の会期で開催されました。

初日には人権擁護委員候補者の推薦についてを全会一致で適任としました。

また、弥富市議会委員会条例の一部改正についてなど2議案が議員より提出され、賛成多数で可決されました。

その他、第2次弥富市総合計画の基本構想について、弥富市職員の給与に関する条例の一部改正について、平成30年度弥富市一般会計補正予算（第5号）など13議案が提出され、所管の委員会に付託、審議し、最終日に追加上程された工事請負契約の締結など、すべて原案どおり可決しました。

一般質問では、9人が登壇し市政全般について質問しました。

なお、委員会に付託された審議については委員会レポートをご覧ください。

本会議初日



議案質疑



第2次総合企画の基本構想について

問 第2次総合計画の特徴の一つに「市民主体」を基本とした計画が追加された理由は。

答 市民と行政が信頼を深めつつ、協働のまちづくりを進めていくことが強く求められているため。

問 施策・事業への外部からの評価とあるが、どのようなものか。

答 新たに行政評価外部委員会の設置を計画。

問 環境対策として、悪臭対策は。

答 河川、地下水の水質汚濁対策の中で対応する。

問 公園緑地の充実とあるが基準を設けて整備できないか。

答 宅地開発が連鎖的に行われてきた前ヶ須地区では公園が少なく、市民や地区からの設置要望があり、第2次基本構想期間の中で設置検討をして

いきたい。

弥富市運動広場条例の一部改正について

問 「八穂ブランド」の申請はいこいの里ではできないか。

答 生涯学習課所管の南部コミュニティセンターで申請可能。



▲八穂ブランド（いこいの里）

問 グラウンドと多目的広場の違いは。

答 スポーツ施設として整備したものがグラウンド、市民が自由に利用できる場所が多目的広場。

本会議最終日



工事請負契約の締結について

小学校空調機器設置工事に関する請負契約の締結について全会一致で原案を可決しました。

第2回臨時会



第2回臨時会が10月16日に開催され「市長の退職の期日に関する同意について」を審議しました。

市長が退職する場合、議長への退職申し出から20日後に退職となりますが、その前に退職したい場合、議会の同意が必要となります。

今回は10月12日に服部市長から退職の申し出があり、10月31日に退職したいという退職時期に関する同意であり、全員賛成で同意しました。

議員辞職を許可

11月16日に江崎貴大議員より、弥富市長選挙立候補のため辞職願が提出され、地方自治法第126条の規定により同日に議長が許可しました。

また、この辞職に伴い議会運営委員に炭竈ふく代議員、議会広報編集特別副委員長に高橋八重典議員、海部南部広域事務組合議会議員に永井利明議員を選出しました。

第3回臨時会



第3回臨時会が11月22日に開催され、市内全ての小学校のエアコン設置工事請負費など5億1708万6千円を追加計上する「平成30年度弥富市一般会計補正予算（第4号）」を審議し、全会一致で原案を可決しました。

行財政委員会

行財政委員会に付託された案件は13件。

1月16日に開催し、第一部で総務部・開発部所管分

を、第二部で民生部・教育部所管分の審査を行いました。

第1部



◆「第2次弥富市総合計画の基本構想について」

問 JR・名鉄弥富駅橋上駅舎化に向けて現在までかかった費用は。

答 1億1千万円程度。

問 これまでの費用が無駄にならないよう計画どおり実行すべきでは。

答 費用対効果を考えている。住民の要望は承知しているが、市としては駅周辺と近鉄北口からJR・名鉄弥富駅にかけての整備を合わせ、大きな計画を考えている。広く意見を聞き事業を進めたい。



▲市内に点在する狭あい道路

問 狭あい道路に対する市の考え、今後の見通しは。

答 引き続き事業を進めていきたい。

第2部



◆「弥富市運動広場条例の一部改正について」

問 八穂グラウンドの駐車場の確保は。

答 以前ゲートボール場であつた所を整備し、駐車場として確保する。

問 市民であればスポーツをした後、いこいの里の風呂を利用できるか。

答 開館している平日・土曜日であれば利用可能。



▲八穂グラウンドに整備された駐車場

付託された案件は全て原案を了承しました。

常任委員会の構成が変わりました

12月25日の定例会初日に議員提案により弥富市議会委員会条例の一部改正など2議案が賛成多数で可決され、従来の2常任委員会（総務建設経済委員会・厚生文教委員会）が統合され、**行財政委員会**となりました。

これは、全議員で市政全般にわたる問題点、行政の方向性、タイムリーな情報を共有し、市民への情報発信を確実に速やかに行うために改正されたものです。

なお、同日に行財政委員長に平野広行議員、副委員長に鈴木みどり議員がそれぞれ選出されました。



免震用オイルダンパー検査に立ち会いました

10月16日付けで、国土交通省より「K Y B株式会社及びカヤバシステムマシナリー株式会社が製造した免震・制震オイルダンパーの国土交通省大臣認定等への不適合」についての公表がありました。その結果、全ての免震用オイルダンパーが所定の基準を満たすことが確認されましたので、31年1月下旬に免震用オイルダンパーの搬入と設置が行われました。

現在建設中の本市新庁舎も、カヤバシステムマシナリー株式会社製の免震用オイルダンパー12基を設置予定でしたが、製品の品質確保が確認されるまでは、納入を見合わせておりました。

国土交通省は、メーカーに対し、性能確認試験を第三者による全数立会いの下で行うことを指示しました。

これを受け、新庁舎に設置予定の免震用オイルダンパー12基全てを、12月18日と12月20日の2日間、カヤバシステムマシナリー株式会社三重工場にて、第三者機関である（一財）日本建築セン



10月臨時会 議案等の賛否状況一覧

会 派 名			公明党		日本共産党		大栄会		誠進会		市政会		無会派					
議案番号	件 名	議決結果	炭電ふく代	堀岡敏喜	三宮十五郎	那須英二	平野広行	武田正樹	高橋八重典	鈴木みどり	永井利明	加藤克之	三浦義光	佐藤高次	大原 功	早川公二	江崎貴大	朝日将貴
その他																		
-	市長の退職の期日に関する同意について	同意	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

11月臨時会 議案等の賛否状況一覧

会 派 名			公明党		日本共産党		大栄会		誠進会		市政会		無会派				
議案番号	件 名	議決結果	炭電ふく代	堀岡敏喜	三宮十五郎	那須英二	平野広行	武田正樹	高橋八重典	鈴木みどり	永井利明	加藤克之	三浦義光	佐藤高次	大原 功	早川公二	朝日将貴
市長職務代理者提出議案																	
議案第63号	平成30年度弥富市一般会計補正予算（第4号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

12月定例会 議案等の賛否状況一覧

会 派 名			公明党		日本共産党		大栄会		誠進会		市政会		無会派				
議案番号	件 名	議決結果	炭電ふく代	堀岡敏喜	三宮十五郎	那須英二	平野広行	武田正樹	高橋八重典	鈴木みどり	永井利明	加藤克之	三浦義光	佐藤高清	大原 功	早川公二	朝日将貴
市長提出議案																	
諮問第1号	人権擁護委員候補者の推薦について	適任	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第64号	第2次弥富市総合計画の基本構想について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第65号	土地改良事業に伴う町の区域の変更について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第66号	弥富市議会の議員及び弥富市長の選挙における自動車の使用及びポスターの作成の公営に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第67号	弥富市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第68号	弥富市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第69号	弥富市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第70号	弥富市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第71号	弥富市運動広場条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第72号	弥富市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第73号	平成30年度弥富市一般会計補正予算（第5号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第74号	平成30年度弥富市介護保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第75号	平成30年度弥富市農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第76号	平成30年度弥富市公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第77号	工事請負契約の締結について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第78号	工事請負契約の締結について	可決	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提出議案																	
発議第8号	弥富市議会委員会条例の一部改正について	可決	○	—	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議第9号	弥富市議会会議規則の一部改正について	可決	○	—	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛否状況 ○：賛成 ×：反対 △：採決時退席 —：議長は採決に加わらない。



ズバリ聞きます!

一般質問

Ⅱ 市政を問う 9議員が登壇

各議員のページの顔写真横のQRコードを読み取っていただくと、市議会映像配信ページをご覧ください。ぜひご覧ください。

一般質問は、議員が市政全般に関して、執行機関にその執行状況や将来の方針、住民生活に密接に係わる事項などについて質問をすることをいいます。
議会だよりでは、質問と答弁を要約しています。

一般質問事項

議員名	件名	頁	議員名	件名	頁
永井利明	①教育施策の現状は ②今後の教育環境は	6	平野広行	①長時間停電と下水道、排水機は ②河川、海岸堤防の整備状況は	11
佐藤高清	①公共施設マネジメントの今後は ②財政状況黒字化を目指せ	7	三宮十五郎	①障がい者に必要な施策を ②今後の障がい者施策は	12
朝日将貴	①行革と少子高齢社会の対策を ②空き家対策は	8	高橋八重典	①市のイベントの将来は ②市長の目指す弥富市の未来像は	13
炭竈ふく代	①防災対策で地域の安全確保を ②障がい者グループホームの今後は	9	加藤克之	①市民の安心安全対策向上に ②伊勢湾台風から60年 取り組みは	14
那須英二	①子どもを産みやすくする支援を ②期日前投票所を増やして!	10			

永井 利明 議員 誠進会



問 教育施策の現状は

答 近隣市町村に先行している

問 物的な教育環境整備は、他市町村と比べてどうか。

答 **【教育部長】** 近隣市町村に先行し、各学校にエアコン、タブレットパソコンを配備。

問 人的環境はどうか。他市町村にはない市単独の職員配置はどうかっているか。

答 今年度から3中学校に配置している部活動指導員、来年度から配置予定のスクールサポートスタッフは近隣市町村にはない。

問 PTAや教育現場からは、教育環境についてどんな要望が出ているか。

答 特別教育支援員の増員、施設修繕など。

問 本市教職員の時間外勤務は改善されたか。



▲今年度から市内3中学校に部活動指導員を配置(弥富北中学校)

答 小学校では在校時間の縮減が見られた。中学校では100時間を越える教職員に減少が見られた。

問 部活動時間の改善は。

答 小学校では来年度から陸上特設部以外はなくなる。中学校では部活動指導員のより良い運用の仕方を目指す。

問 今後の教育環境は

答 適正規模・配置を重視

問 学校適正規模について検討の進捗は。

答 **【教育部長】** 28年に出された答申や、子ども・地域の願いを尊重し、中期財政計画・公共施設等総合管理計画を考慮し、新指導要領の考えに沿い進める。

問 学校統廃合について、近隣市町村の状況は。

答 本市以外に検討している市町が3つあるが、実施できたところはない。

問 第2次総合計画、公共施設再配置計画の中に学校

統廃合の計画は入っているか。

答 計画対象施設として含まれている。

問 これからの弥富の教育施策についての展望、市長の考えは。

答 **【市長】** 安全安心な学校体制、生きる力の育成、いじめ不登校対策、学校支援、適正規模・配置の5点を重要視していく。





佐藤 高清 議員
市政会

問 公共施設マネジメントの今後は

答 ワークショップ・説明会を開催



問 公共施設マネジメントについて以下問う。
市民参画の取り組みは。
答〔総務部長〕今年3月までに「公共施設を考えるワークショップ」を3回開催。更に10月には市民向け説明会とパブリックコメントを実施。

問 議会への説明は。
答 9月頃を予定。
問 専任部署設置に向けての取り組みは。
答 来年度から企画政策部門を独立。

問 「中期財政計画」の分かりやすい市民開示を。
答〔総務部長〕広報などで分かりやすく伝える。
問 財政についての市民ワークショップを開催しては。
答 「財政」の出前講座があるので活用を。
問 中期財政計画と新聞などでは認識に乖離がある。市の見解は。
答 財政状況は厳しいということを今後も広報などで周知していく。
問 財政調整基金の残高はいくらが適正か。
答 最低限10億円は必要。5年後はいくらの予定か。
答 現状維持を目標とする。

問 財政状況
黒字化を目指せ

答 公共施設の統廃合
が喫緊の課題

問 直近5年間の実質単年度収支の赤字の原因は。
答 増加する社会保障費や新庁舎建設事業に伴うもの。
問 黒字化の具体的手段は。
答 公共施設再配置計画に基づき、公共施設の統廃合を推進していく。
問 企画部門と財政部門の一元化を。
答 それぞれが重責を担うため、連携しながら取り組む。
問 行財政アドバイザー制度を導入しては。
答 既に導入の検討を行っており、地方財政に精通した学識者を考えている。

◆【その他の質問】
市内県道について

朝日 将貴 議員 無会派



問 行革と少子高齢社会の対策を

答 行革を確実に遂行していく

問 市外へのふるさと納税額の推移は。

答 (総務部長) 27年度約3400万円、28年度約6100万円、29年度約8600万円。

問 防災バッグなど返礼品を始めては。

答 考えていない。

問 航空宇宙産業に特化した担当課を設置し、対応しはどうか。

答 (市長) 積極的に取り組んでいる愛知県と連携し、特区の推進や企業誘致などを進めていく。

問 少子化対策について以下問う。

小中学校の給食費を無償化すると予算はいくらか。

答 (学校教育課長) 約1億8千万円。

問 子ども会の入会を条件

に給食費を無償化しては。

答 任意団体であるため公平性に欠け、子どもに格差を感じさせるものであり、行うことはできない。

問 ふるさと納税の使途を給食費無償化に設定し、集まった分、負担を減らすことはできないか。

答 考えていない。



問 市長総括を。

答 (市長) 第4次行政改革大綱および同実施計画を確実に遂行し、人口減少、少子高齢社会に対応できる持続可能な行財政運営を目指す。

問	空き家対策は
答	宅建協会と協定を

問 空き家の現状は。

答 (都市計画課長) 29年度末時点で315戸。

問 中古住宅のリフォーム助成はできないか。

答 考えていない。

問 他市のリフォーム補助制度は。

答 定住促進や耐震対策と併せた事業が多く、上限額も30万円から50万円が多い。

問 空き家の原因は。

答 人口減少社会における需要と供給のバランスの不均衡が原因、その他相続や費用の問題もある。



問 市長総括を。

答 (市長) リフォーム助成による、低予算で若い世帯が家を持ちやすくする仕組み作りも必要。また宅地建物取引業協会と協定を締結し、空き家などの発生の未然防止や流通・活用などの促進につなげる。



炭電 ふく代 議員
公明党

問 防災対策で地域の安全確保を

答 自助・共助と公助の役割が重要



▲総合福祉センターに設置された特設公衆電話

問 台風21・24号の自主避難人数は。

答 (危機管理課長) 台風21号時75名、24号時186名。

問 災害時要配慮者と支援希望者の把握は。

答 危機管理課、福祉課、介護高齢課で共有。

問 支援を希望される方への対応は。

答 ワークショップを開催し、要支援者名簿の活用を含め、地域との連携を研究していく。

問 各避難所へのテレビ設置は万全か。

答 全ての1次避難所で視聴できる。

問 長時間の停電時に避難所で使用できる「特設公衆電話」の設置は。

答 1次避難所6カ所と十

四山総合福祉センターに設置。

問 開設への手順、対応は。
答 マニユアルの設置や訓練などを行っていく。

地震の揺れを感じし、電気を自動遮断する「感震ブレーカー」設置への補助制度導入の考えは。
答 必要性など啓発・周知し、補助制度導入は研究していく。

問 グループホーム設置に向けた進捗状況は。
答 (福祉課長) 30年度の補助金申請について、国の補助対象として採択されなかった。
問 未採択の理由は。
答 国が優先的な整備対象となる事業を採択しているため。
問 「障がい者福祉計画」どおり進めているのか。
答 第5期障がい福祉計画で目標設定したとおり、社会福祉法人や民間事業所と協議しながら計画的に整備したい。
問 障がい支援区分認定を受けている人数は。
答 区分1から6までの合計162名。

問 障がい者グループホームの今後は

答 建設に向け取り組んでいく

問 障がい者施設への入所希望者の待機数は。
答 47名。
問 「重度対応型」グループホーム制度への認識は。
答 重度障がい者の緊急一時的な宿泊の場を提供するための、短期入所の併設を必要とされている。
問 重度障がい者受け入れの今後の見込みは。
答 日中サービス支援型のグループホームなどが開設されていけば進んでいく。



那須 英二 議員 日本共産党弥富市議団



問 子どもを産みやすくする支援を

答 産婦健康診査の費用助成を実施

問 市で行っている出産に対する補助はどのようなものがあるか。

答 (健康推進課長) 妊婦健康診査費用の助成事業がある。

問 妊婦加算について市長の考えは。

答 (市長) 少子化対策に逆行するような制度であり、凍結はやむを得ない。

問 妊婦健診の補助券の枠に収まらないものがあるが、

超音波エコーの補助回数を増やすなど補助枠の拡大ができないか。

答 (健康推進課長) 国の基準でもある「4回」は県内で統一されており、拡充は考えていない。

本年度から「産婦健康診査」の費用助成を始めている。「産後ケア事業」について、来年度以降の実施に向けて準備を進めている。



問 期日前投票所を増やして！

答 今後研究していく

問 十四山支所や鍋田支所に期日前投票所を増やせないか。

答 (総務課長) 人件費など多くかかるが、選挙管理委員会の意見を聞き、研究していく。

問 合併後、投票所を何箇所減らし、どの程度予算が抑えられたか。

答 16から12投票所となり、4投票所の減となっている。費用は10年間13回の選挙

で約2千万円の削減ができている。

問 期日前投票所へ送迎バスを運行できないか。

答 現在のところ考えていない。

問 投票所を減らした地域に対して、投票日に以前あった投票所を集合場所にして、投票のための送迎バスを運行できないか。

答 現在のところ考えていない。



【その他の質問】
◆信号のつけられない交差点ヘラウンドアバウトの調査について



平野 広行 議員
大栄会

問 長時間停電と下水道、排水機は 答 自家発電設備が必要



▲十四山東部処理場(竹田地内)

問 長時間停電時の市内浄化センターの稼働体制は。

答 (下水道課長) 発電発電機2台、必要に応じてレンタルも。

問 停電時において公共下水、農業集落排水の運転体制は同じか。

答 公共下水は、自然流下方式、一部圧送式。農業集落排水は、真空式・自然流下式併用。

問 長時間停電時でも自粛することなく通常どおりトイレが使用できる対策は。

答 浄化センターの受入量に余裕があるか考慮した上

で、不便が最小限になるよう知らせる。

問 市内排水機場の停電時における排水能力は。

答 (農政課長) 鍋田地区約45%、十四山地区約48%、市内全体で約47%。

問 停電時に各排水機場が100%排水能力を発揮するには。

答 大規模な自家発電設備を各排水機場に増設する必要がある、国・県と連携し計画的に取り組む必要がある。

問 筏川最下流部にある県管理の筏川排水機場の停電時における運転体制は。

答 自家発電設備が設置されており、約3日間排水が可能。



▲鍋田南部排水機場 (鍋田町地内)

問 河川、海岸堤防の整備状況は

答 国・県と連携し整備促進

問 鍋田海岸堤防の液状化対策・耐震工事の進捗および今後の見通しは。

答 (土木課長) おおむね2024年度に全区間の対策が完了する見込み。

問 本市を取り巻く木曽川、善太川、筏川の堤防構造の認識は。

答 木曽川、善太川は築堤

構造。筏川は掘込構造。

問 木曽川左岸堤の耐震工事進捗および今後の見通しは。

答 進捗率は約27%。木曽三川河口部において、2023年度末までに進めていく。

問 善太川右岸堤の耐震工事の進捗および見通しは。

答 進捗率は約81%、引き続き進めていく。

問 筏川右岸堤の耐震工事、補修工事の見通しは。

答 掘込構造のため必要ない。

問 堤防高が低い稲元、稲荷、大谷、東末広地区の堤防越水による浸水対策は。

答 県が河口の樋門や排水機場など治水施設や護岸の整備をしている。

問 市長総括を。

答 (市長) 国や県など関係機関と連携し、河川・海岸堤防の耐震補強など、社会基盤の整備を促進していく。

【その他の質問】

◆津波・高潮からの一時避難場所は

三宮 十五郎 議員 日本共産党弥富市議団



問 障がい者に必要な施策を

答 関係機関と連携を深める



問 障がい者手帳を必要とする人が受け取れていない現状をどう考えるか。

答 (民生部長) 全ての方が障がい者手帳を受けられるわけではないが、障がい者相談支援事業や、さまざまな福祉サービスを継続し、関係機関と連携を深め安心して暮らせるよう努めている。

問 多くの障がい者が必要な支援から排除されていると思うが、この現状をどう考えるか。

答 交付された手帳の等級などに異議がある場合、申し立てを行える。市も積極的に相談に乗るので窓口に来ていただきたい。



今後の障がい者施策は



市長会で発議していきたい



問 県に対して指定医が国・県の基準に基づいた診察と判定を行うよう求める。

答 (民生部長) 県の担当者に診断書の作成にあたって指定医師間での見解の相違や基準のずれが生じないよう要望した。

答 (副市長) 11月に海南病院の院長と懇談し、要望した。

問 高齢者福祉の立場から市町村が認定したものが国

税や地方税で認められている。これを県と市町村が行っている医療費無料制度などに適用を。

答 市長会で議案として発議していきたい。

問 車を持たない交通弱者への支援は。

答 (民生部長) 手帳所有者はバスやタクシーの割引制度の活用を。タクシー

ケット追加など他市町村より充実してきた。

問 指定医は県が医師の中でも経験や能力の高い人としているが、この現状では障害年金の診断も心配。国民の権利が損なわれないよう要望を。

答 精査して国・県に要請していきたい。



高橋 八重典 議員
大栄会

問 市のイベントの将来は

答 市民が楽しみ満足する企画運営



▲健康フェスタの様様

問 イベント全体の関心度、周知度、満足度の検証は。

答 〔商工観光課長〕 行っていない。

問 なぜ検証しないのか。

答 市民におおむね満足いただいていると考えているため。

問 来年度の対策は。

答 実行委員会などにおいて来年度の開催に向け協議。

問 近隣市町の話題のイベントへ視察や参加は。

答 行っている。

問 市内イベントでも集客があるイベントの改善が早急と考えるがどう捉えているか。

答 〔民生部長〕 イベント会場の連携ができるよう交通手段をつまく利用し運行方法、周知も含め今後の課題とする。

問 健康フェスタを例に取って現状経費と委託率は。

答 〔健康推進課長〕 総額402万8千円、委託率は42・2%。

問 全面委託にした際の経費と今年度対比は。

答 総額432万8千円、107・4%。

問 庁内での企画から全面委託にしては。

答 難しい。

問 市長の見解は。

答 〔市長〕 市民に満足していただくこと。関係者の意見や先進事例の取り組みを参考に、市民と協働。

問 市長の目指す弥富市の未来像は

答 駅前周辺を活性化し賑わい創出

問 既存企業の育成の観点から特区などの処置の考えは。

答 ない。

問 市長の今の考えは。

答 物流産業関連や航空宇宙関連企業などの誘致を進め、既存企業には事業が継続できるよう育成支援を行う。小規模事業者には事業者の育成、支援を行っている。

問 市の玄関口として駅前周辺の活性化、賑わい創出から、個人商店の活性化が不可欠と考えるが市長の今の考えは。

答 賑わいの創出には駅周辺の活性化が必要であると考えている。

問 2020年に再編案などの報告を予定。

答 市長の今の考えは。

問 〔市長〕 75歳以上にコミュニティバスの無料パスカード、運転免許自主返納者に対し、高齢者等福祉タクシー利用助成券の交付を考えている。

加藤 克之 議員 誠進会



問 市民の安心安全対策向上に

答 必要な資機材を市内各所に備蓄

問 海南こどもの国は避難場所として想定しているか。

答 〔危機管理課長〕 県は避難場所として想定していない。

問 市内各避難所は収容人員に応じて備蓄品の管理は整っているか。

答 〔避難所カルテ〕で管理し、適時更新している。

問 蟹江警察署仮庁舎の跡地利用の考えは。

答 県管理の施設であり、市として利用を考えていない。



問 伊勢湾台風から60年
取り組みは

答 ミュージカルの
上演を計画



▲救命胴衣は市内各地に分散配備。
水防活動などの有事の際には消防団員などが使用。

問 伊勢湾台風から60年の節目を迎えるが、市として公式行事の考えは。

答 〔総務部長〕 伊勢湾台風を題材としたミュージカルの上演を計画。被災者体験談を聞く会、当時の写真パネル展を開催予定。

問 市消防団員に救命胴衣の配備はあるか。

答 〔危機管理課長〕 2000着を保有し、市内各地に分散配備。各分団に災害救助用工具キットを配備、順にボートも配備中。

弥富の夜を彩る

金魚イルミネーション出現!

近鉄弥富駅南口・ポケットパーク

点灯式の様子



昨年末、近鉄弥富駅南口・ポケットパークに出現した巨大な金魚のオブジェ。これは弥富市広報大使・やとみちはち氏が代表を務める、まちおこしグループ「弥富スイートハートプロジェクト」による企画の一環で設置された手作りの金魚イルミネーションです。

市内の小中高の児童生徒たちと有志の皆さんが協力して制作しました。

胴体のウロコを表現している約250本のペットボトルと、背びれ尾びれの布さけ、その一本一本、一枚一枚には児童生徒たちの「弥富の未来」への思いが記されています。

12月21日には、各学校の児童生徒の代表と安藤市長も出席し、盛大に点灯式が行われました。

おしえて 弥富のこと

やとみさぽーたー

生徒たちによる
ペットボトル取り付け



弥富北中学校1年生の
生徒たちが製作した
顔出しボードと
インスタパネル



「明るく元気なまちにしたい」
「安全に暮らせるまちに」など
児童生徒たちの思いが
込められています。

あなたの活動紹介します!

今後も、市内で活動する市民団体の方々を取り上げていきたいと思っております。こんな活動しているよ、こんなイベントやっているよという情報がございましたら議会事務局にご一報ください。

連絡先 / 65-1111(代表)

議員の寄附行為の禁止について

議員は、選挙区内の人にお金や物を贈ることは、公職選挙法で禁止されています。

地域の行事などで議員に対し会費が伴う行事などの案内をされる場合は、案内文に会費（他の参加者と同額の会費に限ります）を明記してご通知ください。

また、選挙区内の人へ年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつ（電報も含む）を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。

さらに、有権者が寄附を求めることも禁止されています。

市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

 町内会の集会や旅行などの催物への寸志や飲食物の差し入れ	 病気見舞い	 入学祝、卒業祝	 秘書等が代理で出席する場合の葬式の香典（自ら出席する場合は除く）	 落成式、開店祝の花輪
 お祭りへの寄附や差し入れ	 お中元、お歳暮	 秘書等が代理で出席する場合の結婚祝（自ら出席する場合は除く）	 葬式の花輪、供花	 地域の運動会やスポーツ大会への飲食物の差し入れ

3月定例会の開催日程(予定)

期日	日程	ケーブルテレビ中継 放映予定	インターネット 配信予定
2月27日(水)	本会議 (市長施政方針 演説、議案説明など)	○	○
3月11日(月)	本会議 (一般質問)	○	○
12日(火)	本会議 (一般質問)	○	○
13日(水)	本会議 (議案質疑)		○
14日(木)	行財政委員会		○
15日(金)	行財政委員会		○
22日(金)	本会議 (委員長報告・討論・採決)		○
◆ケーブルテレビ中継 午前10時～会議終了まで (録画放映は当日午後7時～放映予定) ◆インターネット配信～ 開催後、おおよそ10日後より配信予定 ※日程は、変更になる場合もありますのでご了承ください。			

表紙の説明



成人式が1月13日、総合社会教育センターで行われ、506人の新たな門出を祝いました。

当日は天候にも恵まれ、旧友との久しぶりの再会に色鮮やかな振り袖やスーツ姿の新成人から笑顔があふれていました。

式典後は、成人式実行委員会によるアトラクションとして、恩師からのビデオレターが上映され、温かい激励が新成人に送られました。